

編集後記

(59巻 第6号 2013年6月)

2年ぶりに San Diego での AUA に参加した。JUA-AUA のジョイントセッションなどでの役目もあつての参加だったが、特にプレナリーでのUAA Lecture という大役を仰せつかっていた。臨床的に面白い内容なのだが、題名が基礎的なものになったため聴衆が少なかったのが残念だった。しかし、失態を演ずる事なく、何とか無事に20分の演説を終えることができた。

AUA ではいつも何かしらハプニングが起こる。プレナリーが終わってほっとしたのか、今回はタクシーの中に iPhone を落としてしまった。タクシー会社に連絡しても「今探している」の一点張りで埒があかない。翌早朝には San Diego を離れることになっていたのが半分あきらめていた。ホテルで悶々としていると、ふと自分のパソコンには「iPhone を探す」という iCloud 機能があることを思い出した。さっそくパソコンをあけて iCloud にアクセスすると、まず世界地図が出てきた。地図には二つの印が点滅している。1つは京都にある iPad。もう一つは、当然だが San Diego の iPhone である。地図を拡大していくと、Petco Park(野球場)の南側で点滅している。「Petco Park の南側」というと、なんと私のホテルなのである。急いでパソコン持参でフロントに行き、「このホテルのどこかにあるはず」と説明すると、係のひとが地下の取得物収納の部屋からビニール袋に入れた私の(愛すべき) iPhone をもってきてくれた。親切にもタクシーの運転手さんが届けてきてくれたのだが、それ以降の連携が出来ていなかったようである。その夜の慰労会が、私の講演よりもその iPhone の話題で盛り上がったのは言うまでもない。

(小川 修)